

2025 年 12 月 2 日
出光タンカー株式会社

新造・環境対応 VLCC（大型原油タンカー）2 隻の風力補助装置メーカー決定

出光タンカー株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：稲垣 富生、以下「当社」)は、ジャパン マリンユナイテッド株式会社(JMU)有明事業所にて 2028 年および 2029 年に竣工予定の環境対応 VLCC2 隻^{*1}に搭載する風力補助推進装置「ローターセイル」のメーカーとして、Norsepower Oy Ltd.を採用することを決定しました。VLCC への搭載は世界初^{*2}となります。

ローターセイルは、甲板に取り付けた円柱状のローターを回転させて風を受け、マグヌス効果^{*3}で生じる揚力を推進力へ変換する装置です。高さは 35 メートル・直径 5 メートルとなり、今後竣工予定の 2 隻に各 2 基ずつ搭載予定となります。本装置の導入により、風力を活用して燃料消費(重油の 1 日当たりの使用量を約 5-25%削減見込み^{*4})と CO₂などの温室効果ガスの排出を抑え、さらに風力利用によるエンジン負荷の軽減とエネルギー効率の向上が期待できます。

本船は Norsepower 社製のローターセイルに加え、メタノール及び重油を燃料とする「二元燃料焚き」、及び航行中に主機プロペラ軸の回転を利用して発電する軸発電機を採用した、最新鋭の環境対応 VLCC です。当社は今後も大型タンカーの先駆者として、持続可能なエネルギー輸送を切り拓くと共に、カーボンニュートラル (CN)・循環型社会の実現に貢献してまいります。

全長	最大 339.5m
型幅	60.0m
型深	28.6m
満載喫水	21.0m
満載載貨重量	約 309,400 トン
燃料	メタノールおよび重油
造船所	ジャパン マリンユナイテッド(株) 有明事業所
その他	大型軸発電機搭載 風力推進補助装置「ローターセイル」2 本搭載



環境対応 VLCC イメージ

【参考】

出光興産株式会社 プレスリリース：

当社初、環境対応 VLCC（大型原油タンカー）2 隻の建造を決定（2025 年 4 月 24 日）

<https://www.idemitsu.com/jp/news/2025/250424.pdf>

出光タンカー株式会社 プレスリリース：

新造環境対応 VLCC（大型原油タンカー）を「NISSHO MARU(日章丸)」と命名（2025 年 9 月 8 日）

<https://www.idemitsu.com/jp/tanker/topics/2025/250908.pdf>

※1 2024 年 1 月 26 日に飯野海運株式会社、日本郵船株式会社、日本シップヤード株式会社、出光タンカーで結成したコンソーシアムにて、デザインコンセプトを決定。
日本シップヤード株式会社は、今治造船株式会社とジャパン マリンユナイテッド株式会社（JMU）の両社による合弁会社となり、本船の建造は JMU 有明事業所にて建造予定。

※2 2025 年 10 月時点

※3 本船に搭載している円筒形の回転するローターに風が当たることによって揚力が発生し、推進力を得ること。

※4 Norsepower 社調べ

～お問い合わせ先～

出光タンカー株式会社 業務部 事業戦略企画課

URL：https://www.idemitsu.com/jp/contact/group_flow/index.html